

こんな人が転びやすいよ。

1 急いでいる人

急いでいると、足もとへの注意力が散漫になり、転びやすくなります。



3 両手がふさがっている人

荷物などで、両手がふさがっていると、反射的に身体を守れないため、ケガにつながる可能性があります。



5 雪みちに合わない靴をはいている人

雪みち用の靴以外は大変滑りやすく、転ぶ確率も高くなります。また、防寒を怠ると寒さで体がこわばり、動きも鈍ります。



2 ポケットに手を入れて歩く人

ポケットに手を入れていると、急な動きに反応できず、ケガにつながります。



4 何かに気を取られている人

携帯電話での会話に夢中になるなど、何かに気を取られていると足もとへの注意力が散漫になり転びやすくなります。



6 お酒を飲んでいる人

足もとへの注意力が散漫になり、動きも鈍ります。転んでケガをする原因にもなります。



服装は万全にしよう。

●帽子

衝撃を吸収する厚めの毛糸の帽子がおすすめです。

●マフラー

屋内外での温度調節にとっても便利。厚地で長め、幅も広いものを選びましょう。

●セーター

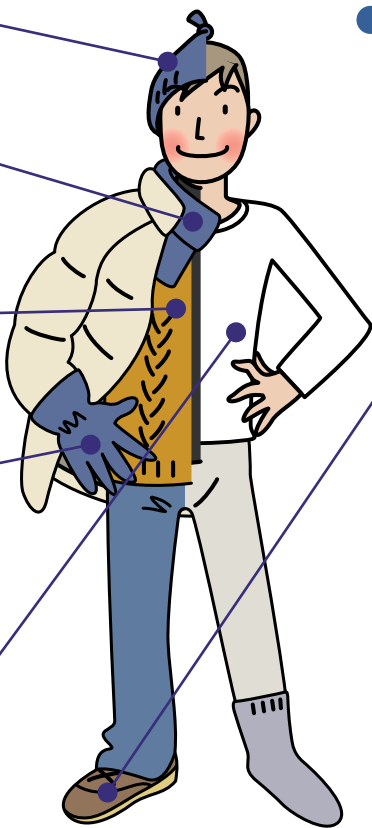
2枚で重ね着できる薄手のもののほうが温度調節もできます。また、厚着し過ぎるとかさの動きがしづらくなります。

●手袋

濡れても水が染みこまない素材で、手首をきちんとおおう十分な長さのあるものを選びましょう。

●下着

肌着や七分丈のパンツ(下着)を重ねてはけば保温性も高く、腰を打ったときに痛みを軽減できます。



●雪みち用の靴・靴用アタッチメント

出来るだけ雪みち用の靴を履きましょう。雪みち用の靴が準備出来ない場合は、自分の靴にそのまま装着できる、着脱可能な靴用のアタッチメントを利用しましょう。ゴムバンドやマジックテープなどで靴底に固定するだけなので簡単に装着できます。

【つま先型】

つま先部分をおおうタイプ。かかと面が狭い婦人靴などに適しています。



【全面型】

足裏全面をおおうタイプ。靴底が平らで広いスニーカーや、紳士靴に適しています。

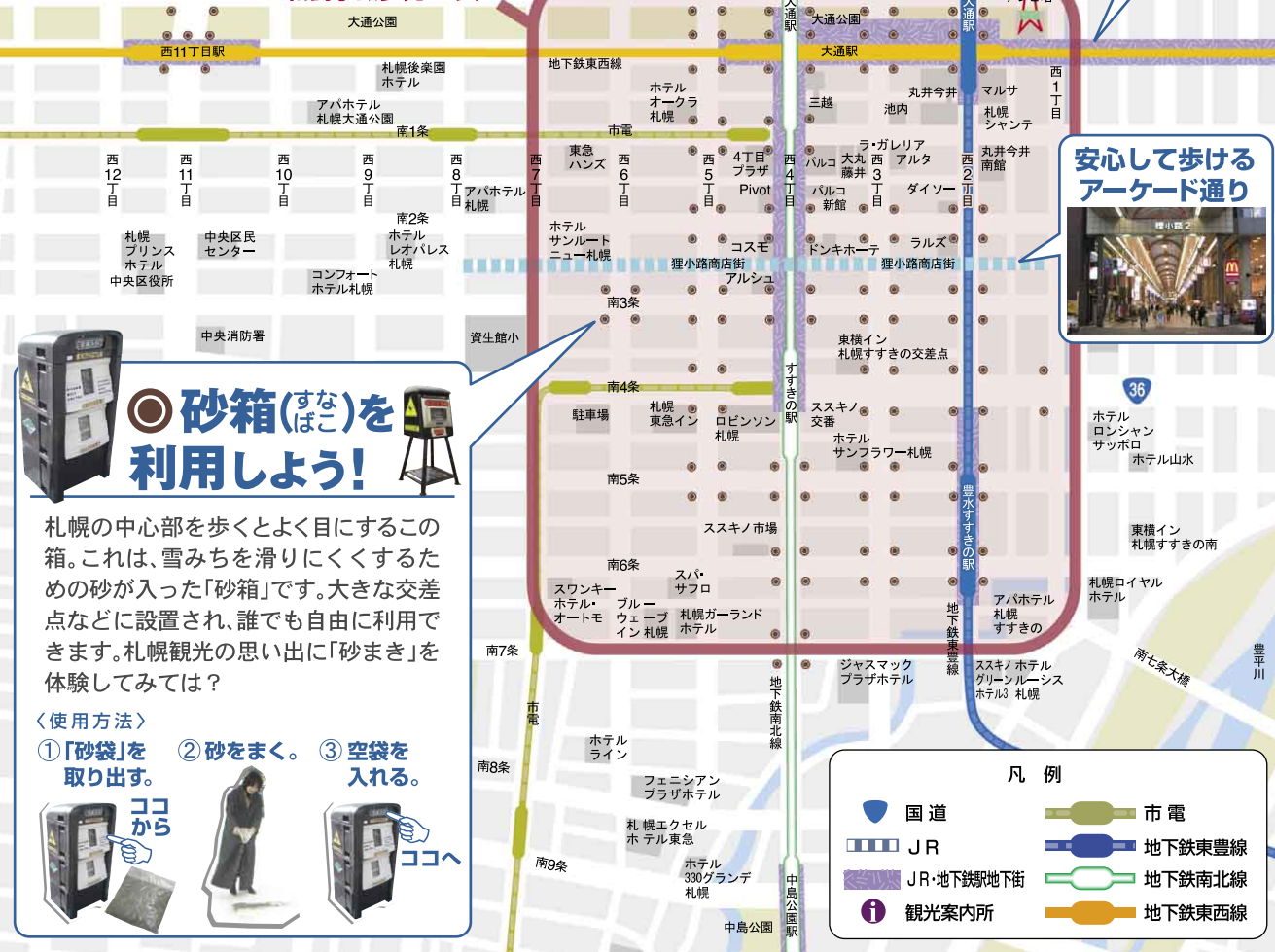


※雪みち用の滑りにくい靴は札幌市内の靴販売店などで販売されています。詳しくは、靴販売店へお問い合わせください。靴用アタッチメントは、新千歳空港や札幌市内のキヨスク、靴販売店、コンビニエンスストア等で販売されています。

実は多い! 雪みち転倒

昨年、札幌市内で700人近い方が雪みちで転倒し救急搬送されました。観光客の5人に1人の方が、道内を旅行中に転倒したというアンケート調査結果もあります。雪みちを歩く時は充分に注意して歩きましょう!

大通～すすきの周辺 転倒事故多発エリア



◎砂箱(すな)を利用しよう!

札幌の中心部を歩くとよく目にするこの箱。これは、雪みちを滑りにくくするための砂が入った「砂箱」です。大きな交差点などに設置され、誰でも自由に利用できます。札幌観光の思い出に「砂まき」を体験してみては?

＜使用方法＞
 ①「砂袋」を取り出す。 ②砂をまく。 ③空袋を入れる。

ココから ココへ

急ぐ時は地下街を利用しよう!

安心して歩けるアーケード通り

転ばないおしえ

パンフレットの掲載内容をより詳しく解説したもののや、その他役立つ情報が盛りだくさん! 雪についての豆知識もあります。ぜひご覧ください!

サイト公開中!

ホームページアドレス...<http://tsuruturu.jp/>